

# 農 林 水 産 統 計

九州農政局大分農政事務所統計部

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成18年4月28日公表

## 平成17年 海面漁業・養殖業生産量の概数（大分県）

- 生産量は前年を大幅に上回る -

### 【調査結果の概要】

- 平成17年（1～12月）の海面漁業・養殖業の生産量は7万2,426 tで、前年に比べ1万679 t（17%：対前年比、以下同じ）増加しました。
- 海面漁業の漁獲量は5万2,929 tで、前年に比べ1万139 t（24%）増加しました。  
これを漁業種類別にみると、まき網漁業で大幅な増加となったほか、はえ縄漁業、船びき網漁業等で増加しました。  
魚種別では、前年不漁であったさば類が大幅に増加したのをはじめ、いわし類（主にかたくちいわし）、まぐろ類、いか類も増加しました。  
一方、前年豊漁であったあじ類やたちうおは減少しました。
- 海面養殖業の収穫量は1万9,498 tで、前年に比べ541 t（3%）増加しました。  
これは、まだい、ひらめで減少したものの、ぶり類、のり類で増加したことによります。

### 部 門 別 生 産 量

単位 { 生産量：t  
比率：%

区 分	平・17	16	対前年差	対前年比	構成比(平・17)
総 生 産 量	72 426	61 747	10 679	117	100
海 面 漁 業	52 929	42 790	10 139	124	73
海 面 養 殖 業	19 498	18 957	541	103	27

注：ラウンドのため、総生産量と内訳は一致しない場合があります。

### 【解 説】

#### 1 海面漁業

海面漁業の漁獲量は5万2,929 tで、前年に比べ1万139 t（24%）増加しました。  
主な漁業種類別・魚種別には、次のとおりです。

#### (1) 主な漁業種類別漁獲量

##### ア 小型底びき網

漁獲量は5,169 tで、前年に比べ49 t（1%）増加しました。

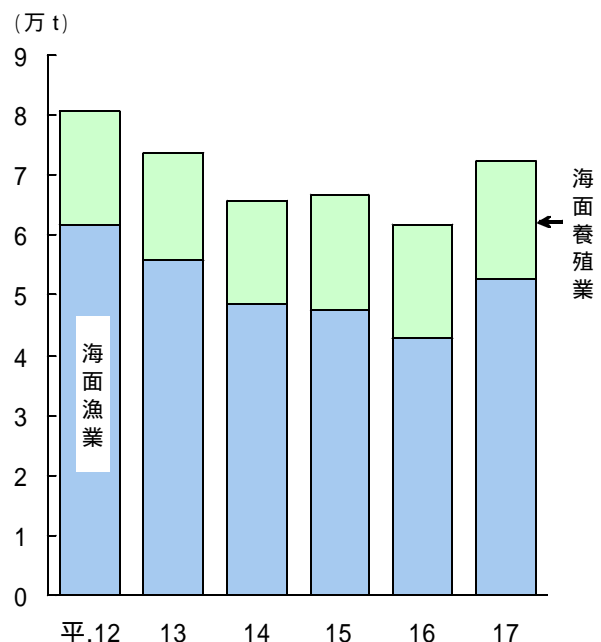
これは、かに類（主にかたぐみ類）、あじ類等で減少したものの、いか類（主にこういか類）、かれい類等で増加したためです。

##### イ ひき回し船びき網

漁獲量は4,818 tで、前年に比べ657 t（16%）増加しました。

これは、前年不漁であった、かたくちいわし、しらすとも大幅に増加したためです。

### 海面漁業・養殖業生産量の推移



ウ まき網

漁獲量は2万2,029 tで、前年に比べ9,492 t (76%) 増加しました。

これは、前年不漁であった、さば類が1万273 t (403%) 増加したためです。また、前年はあじ類の漁獲量が53%、さば類が20%を占めていましたが、本年はさば類が58%、あじ類が21%を占めています。

エ その他の刺網

漁獲量は2,938 tで、15 t (1%) 減少しました。

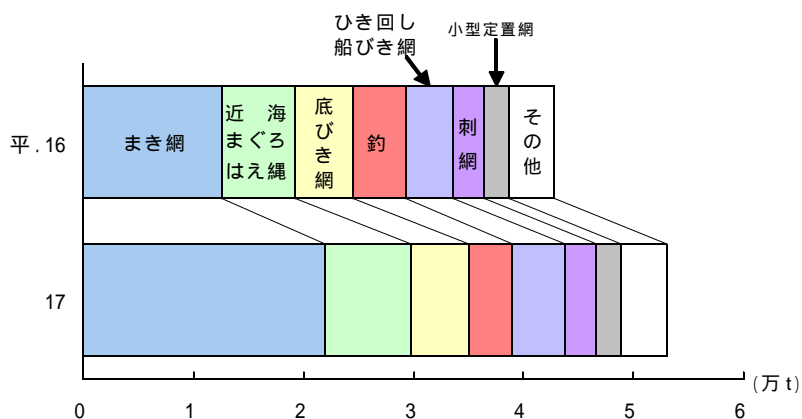
これは、かれい類、にべぐち類、すずき類が増加したものの、かに類(主にがざみ類)、さわら類、えそ類等の魚種で減少したためです。

オ 小型定置網

漁獲量は2,176 tで、前年に比べやや減少しました。

これは、いわし類(主にかたくちいわし)、いか類で増加したものの、ぶり類、あじ類等が減少したためです。

漁業種類別漁獲量



カ 近海まぐろはえ縄

漁獲量は7,761 tで、前年に比べ987 t (15%) 増加しました。

これは、めばちは減少したものの、きはだ、びんながが増加したことによります。

キ 釣

漁獲量は3,990 tで、前年に比べ932 t (19%) 減少しました。

これは、たちうお、ぶり類の漁獲量が大幅に減少したためです。

(2) 主な魚種別漁獲量

ア さば類

漁獲量は1万3,291 tで、前年に比べ1万375 t (356%) 増加しました。

これは、主にまき網漁業で1万273 t (403%) 増加したためです。

イ いわし類

漁獲量は8,208 tで、前年に比べ1,642 t (25%) 増加しました。

これは、まき網漁業、ひき回し船びき網漁業で増加したためです。

ウ まぐろ類

漁獲量は7,561 tで、前年に比べ926 t (14%) 増加しました。

これは、はえ縄漁業で、めばちが減少したものの、きはだ、びんながが増加したためです。

エ あじ類

漁獲量は6,289 tで、前年に比べ2,123 t (25%) 減少しました。

これは、まき網漁業で1,951 t (29%) 減少したためです。

オ たちうお

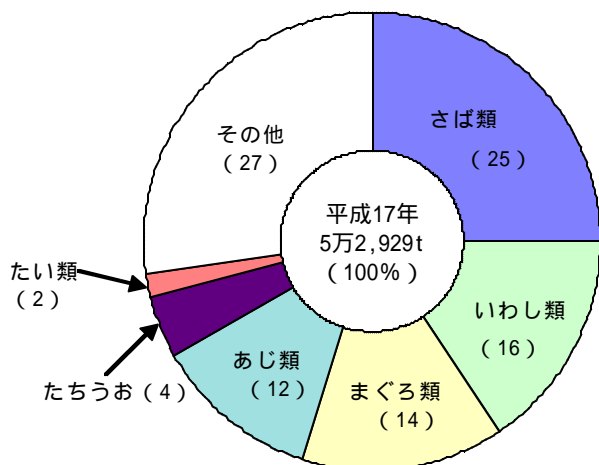
漁獲量は2,294 tで、前年に比べ657 t (22%) 減少しました。

これは、釣漁業で550 t (24%) 減少したためです。

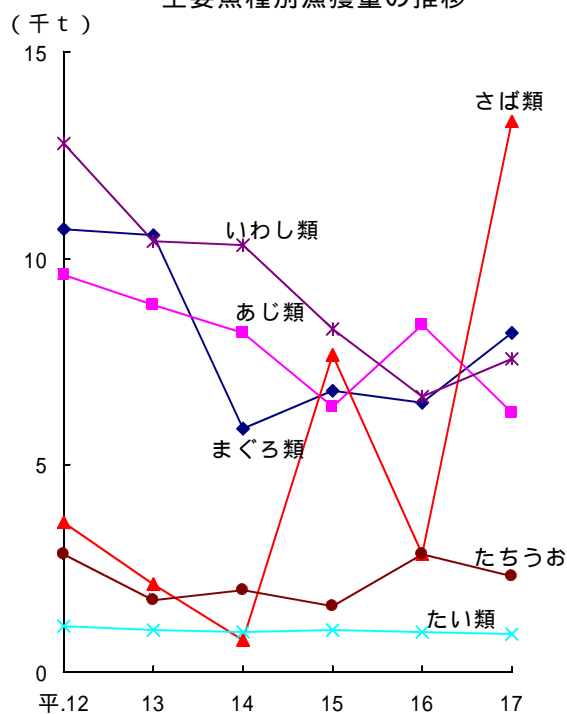
カ たい類

漁獲量は920 tで、前年に比べ18 t (2%) 減少しました。

主要魚種別漁獲量の構成比



主要魚種別漁獲量の推移



## 2 海面養殖業

海面養殖業の収穫量は1万9,498tで、前年に比べ541t(3%)増加しました。

主な養殖種類別には次のとおりです。

### (1) ぶり類養殖

収穫量は1万4,858tで、前年に比べ1,159t(8%)増加しました。

### (2) ひらめ養殖

収穫量は1,458tで、前年に比べ40t(3%)減少しました。

### (3) まだい養殖

収穫量は1,384tで、前年に比べ564t(29%)減少しました。

### (4) くるまえば養殖

収穫量は100tで、前年に比べ18t(15%)減少しました。

### (5) かき類養殖(殻付き)

収穫量は97tで、前年に比べ13t(16%)増加しました。

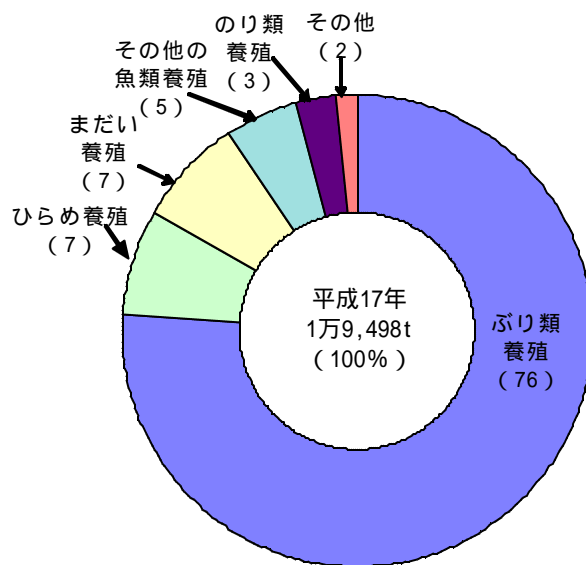
### (6) のり類養殖

収穫量は492tで、前年に比べ71t(17%)増加しました。

### (7) 真珠養殖

収穫量は380kgで、前年に比べ22kg(5%)減少しました。

海面養殖業種類別構成比



## 【調査の仕様】

### 1 調査の目的

本調査は海面漁業・海面養殖業の生産に関する実態を明らかにし、水産行政に必要な資料を提供することを目的としています。

### 2 調査の対象

本調査は、大分県内の海面漁業経営体及び水揚機関を調査対象としています。

### 3 調査期間

平成17年1月1日から12月31日までの1年間です。

なお、遠洋漁業等で年を越えて操業する場合は、陸揚げのために港に入港した日の属する年に含めて調査を行っています。

### 4 調査方法

水揚機関等に調査票を配布し、自計申告する方法又は調査員若しくは職員による面接聞き取りの方法や、漁獲成績報告書の取りまとめによって行います。

### 5 その他

この資料は概数値であり、確定値については、追って刊行する「第53次大分農林水産統計年報」「平成17年大分県漁業の動き」に掲載します。

生産量は、「t」単位とし（真珠養殖を除く）、単位未満を四捨五入したため計と内訳が一致しない場合があります。

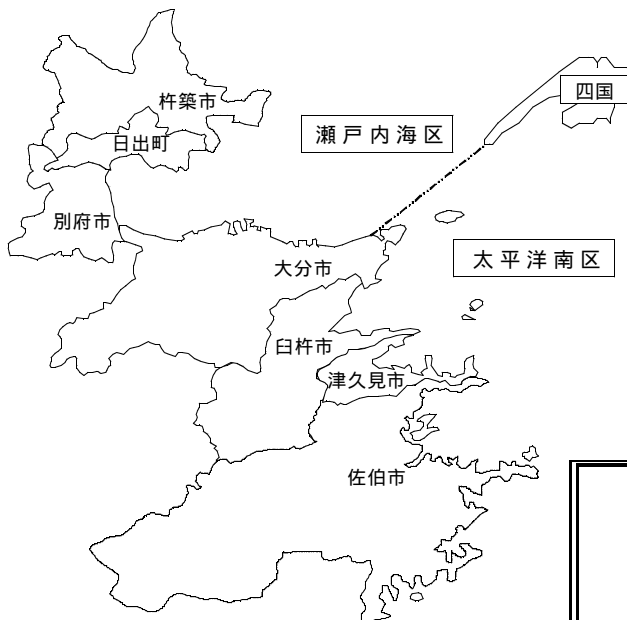
生産量のうに類・貝類は、殻付き重量、海藻類は生換算重量です。

この調査結果は、生産物を採捕した漁業経営体が所属する地域別に計上したもので、いわゆる属人統計です。

この資料は九州農政局大分農政事務所ホームページでご覧になれます。

[【http://www.oita.info.maff.go.jp/】](http://www.oita.info.maff.go.jp/)

漁域図



#### 問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先:九州農政局 大分農政事務所 統計部  
経営・構造統計課 構造統計第2係  
TEL 097-532-6159 FAX 097-538-1820

農林水産統計全般について

連絡先:九州農政局 大分農政事務所 統計部  
統計企画課 企画係  
TEL 097-532-6177 FAX 097-538-1820